



千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会だより

《発行元》
千葉県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会 会長 藤尾 健二

会長挨拶

平成28年度がスタートしました。千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の活動も、いよいよ10年目に入り、当連絡協議会が担う役割や活動する意義などが大きく変わりつつあります。当連絡協議会は、障害者就業・生活支援センター(以下、ナカポツセンター)の組織としては全国でも稀有な存在で、我々の取り組みは全国でも注目されつつあります。

特に我々が取り組んでいる他機関との連携構築については、今後のナカポツセンターの役割を考えるうえで非常に重要な取り組みであり、その効果も大きなものになっています。県内全ナカポツセンターが加盟する当連絡協議会だからこそ、多くの機関の方々との意見交換が可能になると言えます。現在厚生労働省ではナカポツセンターの評価・点検シートを導入し、今後の予算配分の基礎にすることを進めています。この評価内容については、すでに各ナカポツセンターから様々な意見が寄せられており、見直しを進めていると聞きます。ナカポツセンターの実際を他機関との意見交換において明確にし発信することによって、評価の基準も適切なものになるのではないのでしょうか。

また平成27年度から導入したプロジェクトチームによる意見交換、調査・研究や、今年度から検討している連絡調整会議における他機関の方を交えたシンポジウムの開催など、今後も連携を意識した活動を活性化していくことが当連絡協議会には求められていると考えます。

平成28年度は「障害者差別解消法」がスタートした年度でもあります。障害者の雇用・就労を支える我々ナカポツセンターにとっては大きな転換期になります。これまで障害者の権利擁護については度々研修などで取り組んでまいりましたが、明確な基準が無い中での取り組みには限界があり、就労支援の場面においてはどのような支援が適切か悩むことが多かったのが実際です。障害者差別解消法をどのように解釈し、どのように取り扱うかは、障害者本人だけが考えても、雇用企業だけが考えてもうまくはいきません。両者の意見交換、合意に基づき進められなければならないと考えますし、我々含めた支援機関の役割は極めて明確になっていくのではないのでしょうか。

「共に働きやすい職場づくりを」をサポートするという明確な役割を与えられたこの平成28年度こそ、我々ナカポツセンターがあるべき姿を問われる年だと強く感じます。

今後も当連絡協議会の取り組みを通して、我々ナカポツセンターの活動が更に有意義なものになるよう努めてまいります。

会長 千葉障害者キャリアセンター 藤尾健二

今年度の受託事業に関して

・千葉県障害者就労促進チャレンジ事業

千葉県産業人材課から受託しています。障害者法定雇用率未達成企業が、障害者雇用を先駆的にされている企業を見学・意見交換したり、また実際に未達成企業が障害当事者を実習生として受け入れ、お互いに良いイメージを持ってもらい、障害者就労を促進するための事業です。

・精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

千葉県産業人材課から受託しています。就労を希望される精神障害者等が、一般企業内で訓練できるよう、企業開拓及び両者間のコーディネートを行うこととなっており、窓口である千葉県障害者高等技術専門校と連携して支援していきます。

これら2つの事業を受託しており、1人でも多くの障害当事者が就職され、1社でも多くの企業が障害者雇用を始められ、そして定着できればと考えています。

事務局 ふる里学舎地域生活支援センター 本郷宏治

【コラム】数字で見るナカポツセンター事業

ここでは県内にある当連絡協議会に所属しているナカポツセンターの合計年間支援実績を掲載します。県内ナカポツセンターの平均職員数は1センターあたり7名となっており、平均7名の職員でこれらの実績を出しています。この実績を少ないと見るか多いと見るか、この判断は皆様に委ねたいと思います。

支援種別	16センター合計	1センター辺り平均
登録者(支援対象者)数	8044人	503人
支援対象者の就職件数	790件	49件
支援対象者の職場実習等のあっせん件数	555件	35件
支援対象者への相談・支援件数	80879件	5055件
相談・支援対象企業数	2968件	186件
企業に対する相談・支援件数	24035件	1502件
職場訪問による職場定着支援の実施件数	9027件	564件

平成28年3月31日現在

千葉県ナカポツ連絡協議会 雇用実態調査報告

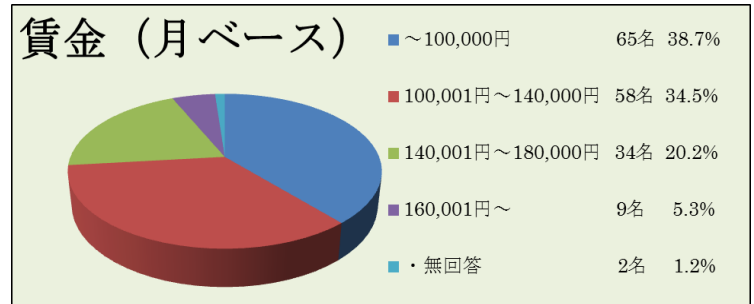
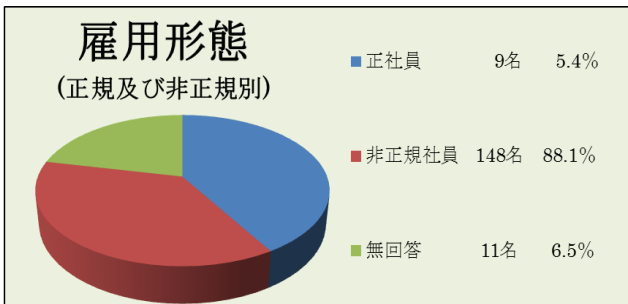
平成27年度における当連絡協議会制度施策部会では、就職者の「雇用状況（職種、雇用形態、賃金など）」を把握し、現状や課題、新たな支援手法の開発を目的に「雇用に関する実態調査」を実施しました。この実態調査は平成27年度に県内の各ナカポツセンターの支援を受け就職した障害者約10名（合計168名）を対象として実施しました。

なお調査結果は今後精査し、関係機関への政策提言に活用する予定です。

本号では抜粋版をご紹介します、詳細な結果については後日HP (<http://www.chiba-centernw.com/>)に掲載する予定です。そちらをご覧ください。

■調査項目：対象者の属性（障害の内容、年齢、受給年金）、就業者の雇用状況（職種、雇用形態、加入保険、休日、就業時間、賃金）、課題認識の有無、工夫している点、自由記述。

■調査結果（一部抜粋）



■課題と考察

雇用形態は、契約社員や準社員、パート等の非正規雇用が全体の92.5%を占め、障害者雇用の主流であることがうかがえます。その為か月収は14万円未満が全体の76.6%となっています。ちなみにわが国の生活保護基準額（例えば30歳無職 千葉市：1給地-2）の月10.7万円（障害加算有）と比較しても、障害者雇用で働く者と生活保護受給者との間に大差ない事がわかります。一方で何らかの年金を受給しながら働く障害者の割合は48.1%なので、現在の障害者雇用施策は障害年金施策と大きく関係していると考えます。

その他、障害者雇用上に課題はあるか？という設問には、93.8%が何らかの課題があると認識している事がわかり、多くは雇用時間や形態、また正社員登用などのキャリアアップ制度がないなど、企業側に起因するものが目立ちました。これは雇用形態に関係なく、『障害者手帳を所持している被雇用者』の労働時間が障害者雇用率算定の要件となっているため、企業側は障害のある従業員の長期的な働き方や経済的自立等への意識が低くいまま障害者雇用率を獲得する事を目標として雇用し続けた結果なのではないかと推測します。

しかしこれらの課題は企業側だけの責任ではなく、ナカポツセンターも障害者のある求職者の支援に新たな支援手法を模索し続け解決していくべき課題なのではないかと考えます。例えそれがイバラノ道であったとしても。

制度施策部会長 就職するなら明朗塾 山本樹

千葉県特別支援学校ワーキンググループ報告

当連絡協議会では就労支援コーディネーターの先生方とこれまで話し合いを続けてきました。

これまで卒業後に就職する生徒はナカポツセンターに登録するという形をとっていましたが、「学校に言われて来たものの、どんな支援をしてくれるのですか？」「特に支援は必要ないが、学校に言われたので来所した」等、ナカポツセンターの機能が伝わっていない状態で来所される例も少なくありません。

学校側には生徒やご家族にナカポツの機能を伝えてもらう事と、どのような支援をどの機関が主軸となって支援を進めるべきかの判断をしていただく必要があると考えられます。

一方で各ナカポツセンターも、地域の支援機関なども含めた説明会などを実施し周知を徹底する必要性が出てきていること、さらには進路指導やコーディネーターの先生だけに留まらず、担任の先生方にもナカポツセンターの機能を知っていただく機会を作らなければならないのではないかと考えます。

今後も学校側との話し合いを繰り返し行うことで支援の在り方について検討を続けていきます。

いちされん 西村拓士

県内二人目の主任職場定着支援担当者 「私はそれを全うすることを使命としたい！」



今年度新たに主任職場定着支援担当者となりました、社会福祉法人光明会障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾の熊谷勇二と申します。

私は入所施設の支援員として入職し、ナカポツセンター職員、ジョブコーチ（現：訪問型職場適応援助者）を担当し、今年9年目に入りました。

本事業に掛ける私の思いは、「働くこと＝社会に貢献すること」です。反対に社会に貢献していないことは仕事とは言えないのです。したがって、働き続けることは、社会に貢献し続けることと言え、障害のある方にも同様にそれを求める必要があると考えます。だから勤務継続のポイントは給与が高いとか、楽な仕事だからという点ではなく、どのように社会に貢献し続けるかを念頭に進める必要があるのです。私はそれを全うすることを使命としたいです。

総会開催



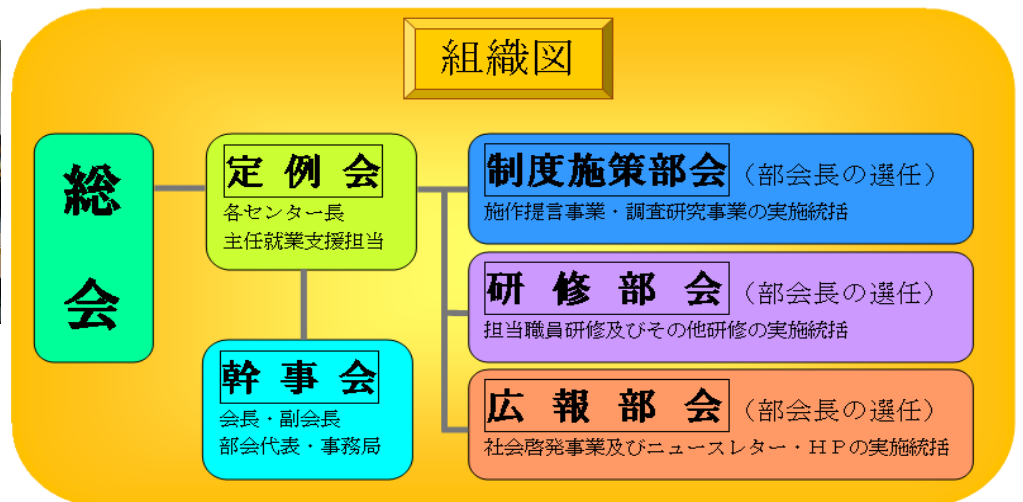
平成28年5月20日、『千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会』が開催されました。

第一号議案の会則の変更では、本会の会議として従来の総会と例会に加え、幹事会が明記され、幹事会は会長、副会長、部会代表者、事務局が出席し、例会前に開催されることが明記されました。

その他、平成27年度事業報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算についての説明がありました。事業計画では、今年度に千葉で開催される労働局主催の南関東ブロック経験交流会議の企画・運営をすること等が盛り込まれました。

最後の議事は役員の変更についてでしたが、前年度同様の体制で引き続き行うことになり、全ての議案において全会一致で可決承認されました。

山武プリオ 松本



ビック・ハート柏 移転のご案内

障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏が移転しました。

私どものセンターは平成18年4月の開所より、柏駅隣接ビルの好立地に事業所を構えていました。利便性に大変優れ、気軽に立ち寄れるセンターとして多くの相談者の方よりご好評頂いておりましたが、反面事業所が非常に狭く、相談者の方のプライバシーを保ち辛いという課題も残していました。

平成28年4月、開所より10年の節目を迎え、相談者の個人情報保護の観点、並びに今年度より柏市障害者就労支援事業の委託開始に伴う事業の拡大を理由に、事業所を移転することとなりましたので本紙面にてご報告します。

新たなセンターの場所は柏駅より徒歩7分弱、商業ビルの3階に有ります。詳しくは右記地図をご参照ください。

新天地においても、今までと変わらずスタッフ同一一致団結し、誠心誠意真心をこめて職務に邁進する所存です。

今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

ビック・ハート柏 センター長 古川 亮



名 称		電話番号
担当圏域	所在地	職員配置※
千葉障害者キャリアセンター		043-204-2386
千葉市	千葉市美浜区新港43	6 2 1 0 0
大久保学園		047-457-7380
船橋市	船橋市金堀町499-1	3 1 1 1 0
いちされん		047-300-8630
市川市・浦安市	市川市東大和田1-2-10 市川市分庁舎C棟内	4 1 1 0 0
あかね園		047-452-2718
習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市	習志野市茜浜3-4-6	4 2 1 0 0
ビック・ハート松戸		047-343-8855
松戸市・流山市・我孫子市	松戸市西馬橋幸町117ロザール松戸 109	4 2 1 3 0
ビック・ハート柏		04-7168-3003
柏市	柏市柏3-6-21 柏ビル302	4 2 1 1 0
はーとふる		04-7124-0124
野田市	野田市鶴奉7-1 野田市役所内	3 2 1 1 0
就職するなら明朗塾		043-235-7350
成田市・佐倉市・四街道市・八街市 富里市・印西市・白井市・印旛郡	佐倉市鎚木仲田町9-3	6 2 1 3 1
香取就業センター		0478-79-6923
香取市・香取郡	香取市高萩1100-2	4 2 1 1 0
東総就業センター		0479-60-0211
銚子市・旭市・匝瑳市	旭市野中3825	3 2 1 1 1
山武ブリオ		0475-77-6511
東金市・山武市・大網白里市・山武郡	大網白里市細草3221-4	3 2 1 0 0
長生ブリオ		0475-44-7797
茂原市・長生郡	茂原市六ツ野2796-40	2 1 1 0 0
ピア宮敷		0470-87-9631
勝浦市・いすみ市・夷隅郡	いすみ市岬町岩熊138-10	2 2 1 0 0
中里		0470-20-7188
館山市・鴨川市・南房総市・安房郡	館山市中里291	3 2 1 0 0
エール		0438-42-1201
木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市	木更津市中央1-16-12 サンライズ中央1F	3 2 1 0 0
ふる里学舎地域生活支援センター		0436-36-7762
市原市	市原市今富1110-1	3 1 1 0 0

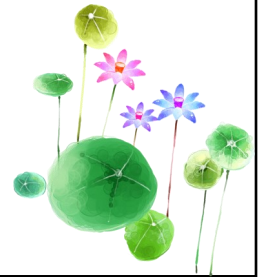
数字で見るナカポツセンター ～職員数編～

ここでは県内にある各ナカポツセンターに配置されている職員数をお伝えします。

職員配置は各センターが独自に決めている訳ではなく、国や県、市町村からの指示によって人数が決まる仕組みになっています。

※職員配置は左より

就業支援担当 / 生活支援担当 / 企業支援担当 / その他 / 主任職場定着支援担当の順に記述しています。また『その他』には、市町村等の単独事業により配置している職員を含んでいます。



編集後記・広報部会より

日頃より当連絡協議会の広報紙をご愛読いただきありがとうございます。ごさいます。

創刊号から早7年、毎年9月と3月にお届けしておりました本紙は、今年から6月と1月に発刊することになりました。本号で第12号、今後も20号、100号と発刊していくにあたり、当連絡協議会の活動をいかに解りやすく見やすい内容で周知できるかをテーマに、紙面づくりに励んでいきたいと思えます。

広報部会長 杉村 利之

事務局

千葉県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会

障害者就業・生活支援センター

ふる里学舎地域生活支援センター

千葉県市原市今富1110-1

電話：0436-36-7762

FAX：0436-36-7612

E-mail：fgakusya-shien@abelia.ocn.ne.jp

ホームページ：

<http://www.chiba-centernw.com/>